

一 般 質 問 通 告 書

佐野市議会議長 様

		受付	番号 1 5	
			令和 2 年 5 月 2 8 日	
			午前・午後	2 時 1 0 分
議会名	令和 2 年 第 4 回 佐野市議会定例会			
発言者	議席番号 3 番 菅 原 達			
答弁を求める者 (選択してください)	☒ 市長 ・ 副市長 ・ ☒ 教育長 ・ ☒ 担当部局長			
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	☒ あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) ☐ なし			
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)			
1. 被災者支援システムの導入について	① システム導入の必要性について 平成 29 年 12 月議会で提案した被災者支援システム導入の必要性について、台風第 1 9 号の被災の経験を踏まえた当局の認識を伺いたい。 ② 西宮方式によるシステムの優位性について 西宮方式 (地方公共団体情報システム機構の被災者支援システム全国サポートセンター提供) は、避難行動要支援者管理システムとの連携により平時から最新情報を管理・活用できる点、システムの導入費用や維持費の低廉さ等、運用面において他のシステムよりも優位性があるものと考えているがいかがか、伺いたい。 ③ 防災力強化に寄与するシステム導入について 災害対応に従事する職員の身体的・精神的負担は相当なものであり、負担を軽減し被災者に迅速で的確な支援を提供するには、被災者支援システムの導入は必須である。 同時に、職員の防災意識の向上も求められ、それを重視する西宮方式は、真の防災力強化に寄与できるものと考え、そのシステムの導入を推進すべきであると考えているがいかがか、伺いたい。			

2. G I G Aスクール構想の
早期実現とオンライン学習の
推進について

① G I G Aスクール構想の早期実現に向けた具体的方針と課題について

「学校教育の情報化の推進に関する法律」の施行に伴い、小中学生1人1台の端末の確保とクラウドの活用、そしてそれらに必要な高速通信ネットワーク環境の実現を目指すことが求められているが、当初の4年間での整備目標が今年度内での整備へと前倒しの計画が示されている。

本市における、G I G Aスクール構想の早期実現に向けた具体的方針と課題について、伺いたい。

② 市内小中学生のオンライン学習の環境整備について

コロナ禍の終息が見えない現状では、今後も小中学校における登校規制が行われる事が想定されるが、これ以上学習の遅れは避けなければならないものとする。

今後、G I G Aスクール構想の推進により端末やネット環境は徐々に整備されるものと思われるが、それと並行して、できるところからオンライン授業を進める必要があるものとする。

そこで、オンライン授業に向けた通信装置の整備や学習カリキュラムの作成及び必要な人材の確保など、学校側での対応を進めるとともに、全体で1～2割と言われるI C T環境が整っていない家庭への当面のフォローとして、端末及びネット環境の貸与、或いは、学校内のパソコン教室の開放などにより、全ての児童生徒が授業を含めたオンライン学習に取り組める環境整備を早急に進める必要があるものとするがいかがか、伺いたい。

③ オンライン授業を継続する意義について

コロナ禍の終息後も学校教育の手法のひとつとしてオンライン授業を継続的に実施することは、不登校や病気療養中の児童生徒にとって、学習意欲の向上や不安解消に繋がる意義があり、継続すべきであるものとするがいかがか、伺いたい。